



Tom Hardy トム・ハーディ

アカデミー賞にノミネートされた俳優であり、プロデューサーとしても活躍するトム・ハーディは、今最も才能豊かな俳優の一人として、注目を集めています。彼の多彩な演技力は批評家や観客に広く称賛され、映画、テレビ、舞台など様々なメディアで幅広く活躍しています。

2016年、ハーディはアレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ監督のドラマ映画『レヴェナント: 蘇えりし者』でアカデミー賞助演男優賞に初めてノミネートされました。また同年、『マッドマックス 怒りのデス・ロード』の演技でクリティクス・チョイス・アワード(放送映画批評家協会賞)アクション映画男優賞を、ブライアン・ヘルゲランド監督のクライムドラマ映画『レジェンド 狂気の美学』で英国インディペンデント映画賞最優秀男優賞を受賞しています。この映画では、実在した悪名高き双子のギャング、ロナルドとレジナルド・クレイを一人二役で演じ、ロンドン映画批評家協会はハーディに名誉ある英国男優賞を授与しました。

2018年、ハーディはマーベル・コミック原作の映画シリーズ『ヴェノム』の主演に抜擢されました。エディ・ブロックとヴェノムの二役を演じたハーディは『ヴェノム』(2018年)とその続編『ヴェノム: レット・ゼア・ビー・カーネイジ』(2021年)の両作品を世界的ヒットに導き、多くのファンを獲得。興行収入面でも自身の作品の中で最大の成功を収めました。

今年上映されるハーディの主演作品は、ジェフ・ニコルズ監督による『The Bikeriders(原題)』です。この映画ではジョディ・カマー、オースティン・バトラー、マイケル・シャノン、ポイド・ホルブルックらと共演。本作はダニー・ライアンが手掛けた同名の著書に着想を得て、1960年代のアメリカ中西部を舞台に架空のバイクチームの台頭を描いたドラマ映画です。また、『ヴェノム』シリーズの第3弾で最終作となる『ヴェノム: ザ・ラスト・ダンス』の制作も完成し、この主演作品は2024年秋に公開予定です。

ハーディのその他の映画出演作には『ブラックホーク・ダウン』(2001年)、『スター・トレック ネメシス / S.T.X』(2002年)、『ブロンソン』(2008年)、『インセプション』(2010年)、『ダークナイト ライジング』(2012年)、『ダンケルク』(2017年)、『ウォーリアー』(2011年)、『裏切りのサーカス』(2011年)、『欲望のバージニア』(2012年)、『オン・ザ・ハイウェイ その夜、86分』(2014年)、『クライム・ヒート』(2014年)、『カボネ』(2020年)などがあります。

テレビ界においてハーディは、トム・ハンクスとスティーヴン・スピルバーグが製作総指揮を務め、数々の賞を受賞したHBOのミニシリーズ『バンド・オブ・ブラザーズ』でブレイクを果たしました。近年では、2017年に米FXと英BBC One共同制作であるテレビシリーズ『Taboo(原題)』企画・製作総指揮に関わりと共に、ジェームズ・ケザリア・デラニー役を演じ、BBCの受賞作『ピーキー・ブラインダーズ』シリーズではアルフィー・ソロモンズ役を演じています。2008年にはテレビ映画『Stuart: A Life Backwards(原題)』の演技で英国アカデミー賞(BAFTA)の主演男優賞にノミネートされました。舞台では、『Blood(原題)』や『In Arabia We'd All Be Kings(原題)』など、ロンドンのウェストエンドで上演された数々の作品に出演。両作品で2003年イブニング・スタンダード・シアター・アワードの最優秀新人賞を受賞し、また2004年には後者の作品でローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされました。同じく2004年、ハーディはブレット・C・レナードが手掛けた『Roger And Vanessa(原題)』のロンドンでの初演で主役を演じています。

ハーディは演じる側だけでなく、パートナーのディーン・ベイカーと2012年に設立した英国の制作会社 Hardy Son & Baker(HSB)の創設者兼CEOでもあります。HSBの代表作にはテレビシリーズの『Great Expectations(原題)』、『A Christmas Carol(原題)』などがあります。また、現在制作中の長編作品には、キム・モーダント脚本・監督のドラマチック・スリラー『Wildlands(原題)』、イギリス特殊部隊SASの元隊員ジェームズ・ディーガンの有名な小説を基にした『Once A Pilgrim(原題)』、英国人の戦場カメラマン、ドン・マッカランの生涯を基にしたアンジェリーナ・ジョリー監督の『Unreasonable Behaviour(原題)』、南極探検隊を何度も率いた英国人探検家アーネスト・シャクルトンの功績をテーマにした『Shackleton(原題)』などがあります。

2018年、ハーディは演劇における貢献が認められ、大英帝国勲章3等勲爵士(CBE)を受勲しました。また現在は、英国を拠点とする慈善団体 REORGの評議員を務めています。同団体はブラジリアン柔術とクロスフィットを使って退役軍人や従軍者、救急隊員のメンタルヘルスと身体的な健康を支援しています。ハーディはまた、慈善団体のプリンス・トラスト、英国海兵隊公益信託基金(RMCTF)、パタシー・ドッグズ & キャッツ・ホーム、ヘルプ・フォー・ヒーローズのアンバサダーでもあります。さらに、ハリ・ブッダ・マガールが率いるグルカ・エベレスト遠征隊の会長も務めているほか、気候変動の影響と地球の未来を守ることに現代の若者を教育することを目的とした団体、エクスペディション8848も後援しています。